



地域でボランティアとして活躍している「活動者」を
リレー方式で紹介します。

今回は「サークル・六点会」の辰巳純子さんからバトンを引き継いだ「こまじいのうち」の山上良一さんに、活動内容や活動をはじめたきっかけなどをお聞きしました。



山上良一さん

Q どのようなきっかけでボランティア活動をはじめたのですか？

仕事を退職した後文京区に越してきましたが、転勤族だった私は文京区で知り合いがいませんでした。妻がサークル・六点会で点訳ボランティアをはじめたのですが、妻が亡くなって一人になった時、何もすることがなくなってしまいました。その後サークル・六点会の当時の会長さんに点字に誘われて、サークル・六点会に入ったのがきっかけです。

Q 現在、どのような活動をされていますか？

その後、文社協とも関係ができるようになって「みまもりサポーター」などいろいろやりましたが辞めて、今は「こまじいのうち」の経理・会計と広報をしています。日記代わりに、こまじいのうちの様子を、その日にあったことは翌日に回さずフェイスブックに載せています。

Q 山上さんにとって「こまじいのうち」はどのような存在ですか？

10年以上一人暮らしですから、家の中でパソコンとYouTubeばかりやっていると人と接して話すチャンスがなくなります。だから気分転換に外出する機会というか、近所付き合い兼、新しい職場です。だからここに来ると、しゃべって動いてを心がけています。

Q 当初と今では、活動への思いに変化がありますか？

こまじいのうちを始めた頃は、遊び気分で自分の都合の良いときだけ来ていたのですが、広報を任せられるようになってからというもの、他地域から視察に来られた時など、文章と写真をどのように組み立てたら良いか、そればかりを考えるようになりました(笑)

Q これから挑戦したいことはありますか？

体力を維持しながら、できるだけ続けられるようにして、人と話をして頭も元気にしながら亡くなられた秋元さんの思いも繋げていきたいです。ここでは子どもも走り回れるし、ここに来ると実家に帰ったみたい、と話す親子も多いです。そういう人たちに来てもらいたいですね。

※次回は山上良一さんよりバトンを引き継いだ、「さきちゃんち運営委員会」代表の八木 晶子さんを紹介いたします。

こまじいのうちの
Facebookページ
はこちらから！



どっとフミコムでは、ボランティア情報やワークショップ・イベント、文京区で活動されている団体の紹介など、さまざまな地域活動の最新情報を見ることができます。気になる情報は、どっとフミコムのサイトでチェックしてみてください！



<https://d-fumi.com>

ご相談
ください

ボランティアに関心がある方、興味を持った方、

やってみたい！ してほしい 話を聞きたい！

など、ボランティアについての質問や問合せ、ご相談を下記の地域連携ステーションボランティア担当までご連絡ください。

発行 社会福祉法人 文京区社会福祉協議会 地域連携ステーション <https://www.bunsyakyo.or.jp>
〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-14 文京区民センター地下1階 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966

開所時間：月～金 9:00～19:00 / 土 9:00～17:00 / 日・祝 9:00～17:00 (施設利用のみ)
休館日：12月28日～1月3日 ※毎月第4月曜日は17:00まで

ぼらんていあニュースは、封入ボランティアの皆さんのご協力のもと、お届けしています。いつもご協力ありがとうございます。

あなたらしく。はじめる、つながる。きっかけ応援誌！

ぼらんていあ 夏 ニュース

TAKE
FREE

ご自由に
お持ちください



令和7年6月発行

TOPICS

1 今年も「なつぼら」の季節がやってきた！

2 点訳講習会／ボランティア情報

3 わたしが「なつぼら」に参加したワケ

4 バトンをつなげる～活動者の声～



今年も「なつぼら」の 季節がやってきた！



ボランティアに興味はあるけど、「自分にできることって何だろう」、「はじめ方がわからない」と思っている方はいませんか？文京区社会福祉協議会では、夏の期間にボランティア活動への関心と理解を深めるとともに、「さまざまな人との出会い」や「新たな自分を発見する」ことなどを目的に、今年も「なつぼら」を開催します！



そうじのお手伝い



子どもの
学習支援
活動



施設の
清掃活動

「なつぼら 2025」で、ぼら活はじめてみませんか？



花壇の
お手入れ
活動



園児の
見守り



革製品を作る
体験

※過去の体験場面や様子です。

地域連携ステーション ボランティア担当 TEL 03-3812-3114 FAX 03-5800-2966

募集中!

～言葉点を点で表す世界～「点訳講習会」を開催します。年齢制限なし

サークル・六点会

※点字は視覚に障がいのある方が触って読む文字で、文字を点字に翻訳することを点訳といいます。

サークル・六点会で点訳ボランティアをしませんか

サークル・六点会は文京区を拠点に点訳・触図製作を行うボランティア団体です。初心者向けの「点訳講習会」を開催します。目の不自由な方に、文章などを点訳するための基礎知識や技術を学べます。点訳に興味があり、ボランティア活動をしたい方、どなたでも受講できます。

日時 9月2日(火)～12月16日(火)
10時～12時(第1・第3火曜日 全8回)

場所 区民センター4階活動室

講師 河野 孝志氏
(文京区視覚しょうがい者協会副会長、
サークル・六点会顧問)

申込 件名「点訳講習会申込み」として、
①氏名・年齢、
②郵便番号・住所、
③電話番号を明記の上、
下記サークル・六点会メール
アドレスへお送りください。

備考 原則として毎回課題提出

対象 視覚障がいについて関心があり、講習会修了後、サークル・六点会での点訳ボランティア活動に参加する意思のある方(パソコンを使った活動のため、Windowsの基本操作が出来る方)

費用 「初めての点訳第3版」テキスト代として、770円(税込)
※講習会中の点字器、点筆、点字用紙は当方で用意します。

定員 10名(応募者多数の場合は抽選)

締切 8月12日(火)
※申込者には締切後、
メール連絡します。



ホームページは
こちよ



毎月第3火曜日(8月を除く)13時30分から定例会を開催しています。見学希望の方はその旨もお知らせください。

問合せ メール **サークル・六点会** tenji610@6tenkai.sakura.ne.jp <https://6tenkai.com/>

募集中!

「春日子どもの遊び場」ボランティア募集

ウフル

私たちは、2002年から子どもたちが自由に遊べる居場所づくりを目指して遊び場を開催しています。障がいのある子どもない子どもと一緒に過ごし、笑顔と成長を見守る活動です。工作やおもちゃ、外遊びなどをして一緒に過ごす、1人の子どもの「遊びのパートナー」になるボランティアさんを募集しています。



子どもと遊ぶのが好きな方はもちろん、1日のみの参加、初めての方も大歓迎です!



応募はこちよ



活動日 7月26日(土)のほか、8月を除く月1回
基本第3土曜日(変動あり)
※12:45集合～17:00解散

活動場所 文京スポーツセンター(茗荷谷駅徒歩5分)、
部屋は毎月違います。詳しくはホームページまで!

問合せ メール **ウフル** uhuru2002@gmail.com

ホームページは
こちよ



なつぼら参加者 インタビュー

仲間と続けたい自分たちにできること

わたしが
「なつぼら」に
参加したワケ



広尾学園小石川高等学校に通う中田理温さんが「なつぼら2024」に参加して感じたこと、今取り組んでいること、ボランティア活動について、高校生の目線で語っていただきました。

○なつぼら2024に参加したきっかけは?

学校でも長期のボランティアをやろうと思っていました。でも、いきなり実行に移すのは不安があり、計画を立てただけでした。その時になつぼらを知りました。1日からでも参加できるのでいい準備になるかなと思い参加しました。参加してみて実行に移す不安はだいぶ解消しました。

○なつぼらで、どんな体験をしましたか?

なつぼらでは、どろり保育園で保育体験をしました。保育士さんが気軽な感じで受け入れてくれたので楽しくできましたが、難しかったのは同じ年齢でも一人ひとり発達度合いが全然違うので、一人ひとりに合わせてコミュニケーションの取り方を変えないといけなかったところです。僕は3歳から5歳のグループで担当保育士さんと一緒に子どもの相手をしました。寝かしつけまではしませんが、昼寝の時間になっても、遊びたい!と喋り続けてくれませんでした。仲の良い妹がいるので年下の子の対応は慣れていますが、どうしても甘やかしてしまいます。でも、保育士さんはちゃんと注意すべきところは注意してメリハリをつけていました。これは自分の生活でも大切なことだなと思いました。

○中田さんにとって、ボランティア活動とはなんですか?

ボランティアは、基本的に活動に対する報酬がありません。金銭的報酬の代わりに、周りの人の笑顔や感謝の気持ちもらえるので、満足度は高くなると思います。活動をするらず自分が楽しめずし、活動を提供される側の相手もいい気分になることが一番です。お金では得られないものがあります。

○今、取り組んでいることはなんですか?

これからやりたいことは2つあります。小学1年から5年の間、アメリカのシカゴに住んでいました。そこで身に付けた経験や英語力を活かし、日本に住んでいる外国人にやさしい日本語を教えたり、海外の大学講座などを日本語に翻訳して日本の学生に届けるなど、僕の強みを地域貢献につなげていきたいです。もうひとつは、アメリカに住んでいた時、アメリカと日本の文化の違いをすごく感じました。それぞれ良いところが違うので、良いところを知ってもらいたいと思って、英語の得意な高校の仲間と一緒に、日本の食べ物やお祭りなど文化や伝統を広めるという活動をしています。インスタグラムなどSNSで発信しているのでフォローをお願いします!

wirrkのみなさん



フォロー
お願いします!

○これからチャレンジしたいことは?

今の日本で、消えていきつつある伝統やそれを育ててきた環境を次の世代の子どもたちに伝えていくことは大事だなと感じているので、英語力と地域をつないで地域貢献できるイベントを開催していきたいです。なつぼらにも時間があったら参加して、次は高齢者の分野にチャレンジしてみたいです。みなさんも夏休みは時間があると思うので、この機会にチャレンジして、何かをやるきっかけにするといいと思います。



インスタグラムは
こちよ